

月刊トマホーク通信

No. 32

88.6.20

東京都渋谷区渋谷 2-5-9 パル青山 502 トマ喰虫社 ☎ 03(498)6095
044(63)5101



5.29 ヨコスカ

デイビス博士の報告

6. 18 トマホーク神奈川県民審査会から

5. 29 コモンデート88

核疑惑一艦の横須賀
配備撤回意見書可決

6/24 A
大和市議会は二十三日、核兵

器搭載の疑惑が持たれていた米

和会員日本安保体制を認める立

海軍駆逐艦ファイフと、巡洋艦

場から反対した。

バンカーヒルの横須賀配備計画の撤回を求める意見書を社会に公明、共産と保守系の一部の賛成多数で可決した。保守系の清成会は日本安保体制を認める立場から反対した。

九月までに横須賀に配備するとしている両艦船は、巡洋艦ミサイル・トマホークの垂直発射装置（VLS）を装備してお

トマホークの配備を許さない！ 全国運動

●維持会員（月間会費）

個人 1日 2000円
団体 1日 1000円

●参加会員（月間会費）

個人 1日 1500円

●通信会員

年間 2000円

あなたも仲間に！



れぞれの思いを大声で叫んだ。
ちなみに、一等賞の賞品はナ
二等は三宅島特産の焼酎島娘、
ンカードなどで、すべて有志の
もの。一等賞品のナポレオンを
た服部学さんも参加して大声を
残念！ 三等賞となってしまっ

ボレオン一本、
三等はテレホ
ンのカンパによる
提供してくれ
る。張り上げたが、
た。

いた逗
子米軍生
してく

子市の市民たち
住宅に反対する
れた。

反核バブルマニア

入りで登壇。池
込めた歌を披露

いた菊 楽で開 や、県 沢光代 評関東 行った 宅島の

池さんによる、再度の景気づけのお神始。大石武一元環境庁長官のあいさつ評事務局長の中村勝美氏、逗子市議の氏、千葉景子参議院議員、佐野城次総氏、千葉景子参議院議員、佐野城次総「三・二・一に反対する会」代表、現地の

፭፻፷፯—፪፭

五·二九橫須賀行動報告

さらに続いて、横須賀のお隣退子市在住の太鼓奏者菊池さんによるお神楽の演奏。菊池さんは、先祖が明治時代の秋父国民党蜂起の際、太鼓を叩いて励ましたという反権力の血筋を引いてゐる。「宫廷音楽と違ひ、神楽は本来民衆の音楽」だといつてゐる。

三

参加者

田口一成

市民連合

イベントと全体集会の二部構成で午前十一時
にスタート、盛夏を思わせる暑い陽差しの中
で行われた。

大声エンテ五ト

五月の最終週は、全世界的に海の軍備撤廃を求める共同行動の日「コモンデート」週間である。日本でも、この呼びかけに応えて、毎年五月の最終日曜日に大規模な集会を行つてきたが、今年は五月二十九日を「核の海を実行された。

今回の五・二九行動では、私たち反トマ全国運動と神奈川県評、県護憲などが実行委員会をつくり、会場も神奈川県横須賀市の米軍基地に隣接する横須賀臨海公園に設定。当日は三八〇〇人の参加者で会場を満杯にした。集会は、市民グループが企画運営する「ブレ

プレ・イベントではまず、地元横須賀と横須賀在住の人たちでつくるロック・グループ「御三ノ宮パートII」の演奏で本番入り。C.R.（クリーデンス・クリヤーウォーターア・リバイバル）やボブ・ディラン、ジョン・レノンなどおなじみの曲目を披露。最後に同グループのオリジナル曲で締めくくった。

集会参加者は、六〇～七〇年代のヒット曲の数々に、当時の熱い気持を搔さぶられたようだ。一時会場はノスタルジックな雰囲気につつまれた。

続いては、当日各地から参加した地方参加者のあいさつ。京都、名古屋、吳、佐世保から駆けつけた市民運動家が壇上に上がり、反核・反基地・反トマホークを訴えた。

次は、「プレ・イベン」集会中のハイライト。「大声コンテスト」の時間だ。これは、壇上から海を隔てた米軍基地に向かって反核や反トマホークを大声で叫ぼうというもの。声の大きい人には賞品も授与される。

ニュージーランドでは、市民が小船を仕立てて海上を閉鎖し、核艦船の入港を阻んだ実績があるが、横須賀の地元市民グループでも、これにならった「平和船団」を結成している。この平和船団が、集会場の沖合に船出しており、陸上からの大声の届きぐあいを判定しようとという仕組だ。ちなみに審査委員長には川崎市の青柳さんにお願いした。

さて、参加者は次々と登壇、「平和の海を返せ!」「トマホークは来るな!」など、そ

あいにくの雨の中、恨めしく空を見上げながら、五・二二依佐美行動は始まった。今年の依佐美行動は、これまでの集会・デモというパターンではなく署名・宣伝行動になつた。その理由は、米国の核戦略の中で依佐美基地のはたしている役割が、地元の刈谷市民にあまり知られていない（当会のアンケ

米海軍依佐美送信所をなくそう あいち反戦の会

核も安保もいらない！

て空を飛びまわるブルーインパルスに一般見学者は歓声をあげていたが、これ以上の騒音で日常的に苦しめられている岩国市民はとてもそんな気にはならなかつただろう。

基地内見学の後、市役所内にある岩国市職事務局で反基地交流会を行い、岩国基地の現

状と問題についての説明や、トマホーク艦の日本母港化反対の取り組み、ピース・スピリット呉行動（五・二二）などについて話し合われた。

今回の行動は、岩国市職平和研究会としては初めての具体的な取り組みであり、岩国基

当日前十時、依佐美基地にほど近い国鉄名鉄併駅の刈谷駅南口に、前日の交流会にひきつづいて参加したトマホーク阻止京都連絡会の仲間とともに集合。午前中いっぱい同駅の南北両駅頭に分かれて署名・宣伝行動を行つた。雨の中人通りもまばらなため署名もそ

多く集まらず、意氣もあがらず午前中の行

行への基地は「いらんといヤア」ともらす人もたくさんいたが、中には自分も基地騒音で苦しんでいるから基地反対（撤去）には同感だと積極的に述べる人もおり、基地に行くから全部が全部基地を認めているというものでもないことを示していた。

ピラ配布の後、ピーススピリットの赤旗を掲げてわれわれも基地内に入り見学を行つた。色とりどりの煙を吐きながら轟音を響かせ

5. こんな基地はいらん！

ピーススピリット
岩国行動

島中 靖（岩国市職
平和研究会）

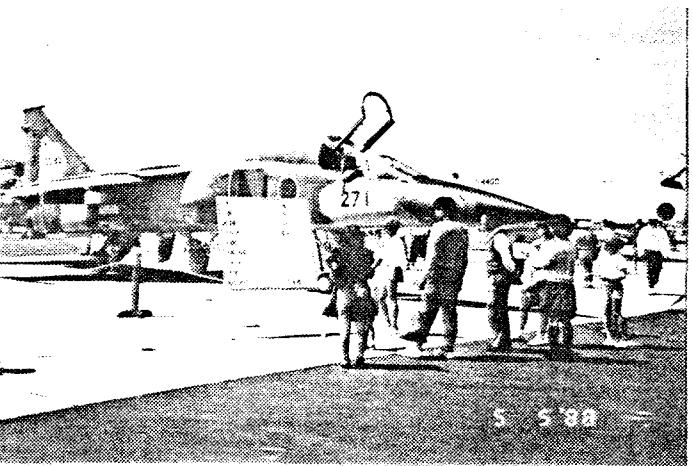
さる五月五日＝子どもの日、岩国市職平和研究会は、広島、吳の仲間たち十数団体とともに、岩国基地開放デーにあわせてピース・スピリット88行動にとり組んだ。

基地開放デーとは、米軍と自衛隊が、基地や軍隊の存在を認めさせるための“宣撫策”として年一回行うもので、当日は基地内に民間人を自由に出入りさせ、軍用機などを見学させたり、米兵が日本人と一緒に軍用機の前で記念撮影におさまったりしてサービスにつけられる。また自衛隊はジェット機＝ブルーインパルスの曲芸飛行を披露したりする。

この開放デーの人は毎年十万人といわれ、（岩国市の人口は約十二万人）県内に限らず近県各地からの見学者で当日は国道に車の長蛇の列が続く。また今年は、これに合わせて



基地見学者にピラまき (5-5)



地撤去の闘いを前進させるためにも大いに意義があつたと思う。今後は、平和研を質的量的に発展させ、反戦反核、反基地、反原発、反天皇を闘う全国の仲間たちと結んでいきたい。

動は終つた。昼食の後、午後一時に再び南口に集合。三十分程のかんたんな集会を開く。名古屋労組連の阪野さん、京都トマ連の吉田さんから発言をいただく。そして、いよいよ2コースに分かれて基地めざして出発となつた。ピラをまき、ハンドマイクでアピールしながら、途中、集中的に各戸ピラ配布を行うといった形で、総勢三十名の仲間が雨をついて歩く。基地の北側を回るコースには、角岡刈谷市長の自宅があり、その周辺ではとくに念入りに情宣が行われた。一方宣伝カー2台（1台は途中から加わった京都の宣伝カー）が両方のコース沿いを縦横に走り“依佐美基地撤去”をアピールした。

三時ごろの参加者全員が基地に隣接する双葉公園に到着。雨にけむる基地をにらみながら、まとめの集会が行われた。地元刈谷市に住む

海の軍備はいらない

横須賀など 4港で国際共同行動



▲広島・呉港
社会新報より 沖縄・ホワイトビーチ▼



と連呼しながら歩いた。△(デルタ)女の会のメンバーがつくりた「桃太郎さん」の替え歌「トマホークさん」も好評だった。この太鼓の音は、道行く人々の関心をいつになくひきつけた。

米艦の呉入港

二十五日には広島市長に向けてSSDⅢの発言の中で海のINPEの全廃、とりわけトマホーク艦の横須賀配備に対し被爆地の長として絶対反対の意思表示をするよう要請した。ところがその日、呉市役所記者クラブには、

二十七日米艦が呉港に入るという情報が入り、

大騒ぎになっていた。私たちは急遽二十六日、呉市に、核はないという証明がない米艦の入港は拒否するよう申し入れ、当日、朝八時海上自衛隊Fバーン、サンブルの入港に抗議する集会を開き、艦長あての英文の抗議文をよみあげ、サンブル乗員に訴えた。

その後、何の対応もしなかった呉市に抗議するため市役所へ移動。そこで偶然サンブルの艦長が市長を表敬訪問するところに出あわし、とつさに彼らを追いかけ、エレベーター

の中で英文の抗議文を手渡した。市との交渉では、正式には市に何の通知もないままでいつ、一方で艦長の表敬訪問を受けるという市姿勢を追及した。

二十九日の集会は一週間前とうって変わつて快晴の中で行われ、五〇〇～二〇〇〇人が集まった。これは呉では少なくとも十五年ぶり以上のことで、ピース・スピリット'88の中で横須賀集会に呼応して呉でこのようないい集会がもれたことは画期的だった。折りしも目の前には二隻の米艦が停泊しており、集まつた人々の中に継続的な取り組みへの意欲がめばえることを期待したいと思う。

そして三十一日には県に対し米艦の入港に抗議すべきであるという要請を行った。

この十日間は実に慌ただしく過ぎた。特にその中間に米艦が呉に入ったことで、ひときわ忙しくはなったが、その分、私たちの便も盛り上がった。こうして今年の国際ウイークエンンドは思わぬ形で多彩な取り組みが実行できた。今、広島県、呉市、広島市むけの要請署名の第一次集約をとりまとめ、六月下旬から関係機関に提出していく準備に入つてある。それを、秋へ向けてのトマホーク艦母港化阻止の世論づくりの出発点にしたいと考えている。

5. 22 呉

瀬戸内を核の発射台にするな！

湯浅 一郎

(トマホークの配備を許すな！呉市民の会)

雨のなかの “ダイ・インもどき”

全国的なピース・スピリット'88に呼応して、岩国、広島、呉の地域から声をあげようと始めた広島行動は、五月末の呉を中心とした取り組みで一段落を迎えた。この間私たちはトマホーク艦の横須賀配備をとめるために広島の地で何ができるかを追究し、被爆地の自治体をして母港化反対の意志を表明させようといふ世論づくりに力を注いだ。五月の「海の重機撤去」・国際週末はその一つの節目と考え、五月二十二日、「瀬戸内の海を核の発射台にするな」をテーマにピース・スピリット'88をを行い、その上で県労、SSDⅢにむけて行動する広島の会主催の五・二

九「核トマホーク艦入港阻止、海洋の非核化を求める呉港集会」に合流するという企画を準備した。

二十二日は朝からの大霖の中、蔵元通り公園で五〇人あまりが集まり、傘をさしての行動となつた。各団体のアピール、歌につづき、当初呉港での核兵器事故を想定したダイ・インを予定していたが、雨でできず、結局一分間笛をつむって、核事故に想いをめぐらすことで、「ダイ・インもどき」を行つた。最後に子どもが、「どうおの坊やは病気です」の一節を朗読し、「この本をよんで私は、核兵器を地球からなくさなければならない」といました」と述べたところで閉会した。

その後中通り商店街をパレード。太鼓にあわせて「核の海からいのちの海へ！」トマホークいらないよ！呉に核はいらないよ！」

神谷さん、同市在住で初めて行動に参加してくれたAさんが発言。京都トマ連の仲間、名古屋労組連のタカラブネ労組、「フィリピンバナナと私たち」の有志のみなさんがアピールを行い、最後に基地に向かつてシユプレビンコールをたたきつけ、五・二二行動を終えた。

今回の行動では、参加者三十名と多くはなか

ったが、各戸ビラ配布をとおして、地元住民と「出会い場」がつくれたということで、参加者には好評であった。

また、五・二二行動は、陸上INPE全廃条約とは裏腹に進められる海洋INPEの増強、トマホーク艦の横須賀母港化という事態の中

でそれを支える通信ネットワーク（依佐美基）

地を含めた）が重視されざるを得なくなつて、いる中の取り組みであったのだが、今後の状況の煮詰まりにつれて、その成果が表われるような署名も含めた運動をさらに進めていきたいと考えている。

帶びた炉心の一部が4時間にわたり周囲の環境に放出される原子炉事故、の二つのシナリオについて行われている。それらがもたらす結果は、アメリカの民間原子力産業を規制するため米原子力規制委員会（NRC）によつて公表されている方法に基づき、極めて控え目な仮定と組み合わせた結果として算出されてゐる。

しかし、アメリカ軍は事故の可能性を認めている。比較的発生する可能性の少ないものとして、「偶発的核爆発」、「核兵器の落下（発射でなく、誤って搭載された籠や飛行機からはずれてしまふこと、既に発生した事実もある）」があり、最も起きる公算の大きい事故として、「推進用原子炉事故」「火災による核兵器への引火」がある、と考えられて いる。

七七〇〇〇人の死者

それによると、核兵器事故、原子炉事故のいずれを問わず、煙霧状の放射能雲を生ぜしめ、最も多い夏風の風向きで北北東へ移動、約二キロから十キロ幅のブルーム（煙状の気塊）として横須賀から東京都心部を通過するブルームは幕状に放射能を残して重大な放射能汚染とそれに伴う死者が想定される地帯は半径一〇〇キロ以上に及ぶ。東京、横浜はもちろん、船橋、千葉、大宮、川越、八王子、平塚といった主要都市も含まれる。

これによるブルートニウムの空气中濃度は事故現場近くで、現行米連邦政府限界値を一万倍まで越え、東京全域でも一〇倍～一〇〇倍染濃度は事故現場近くで米連邦政府限界値の一〇〇万倍を越え、東京全域でも一〇〇〇倍を越える。

それらの地域に存在する人々は、空気の吸
入によって内部被曝する量だけでも米連邦政
府基準の約一〇〇倍、東京のほぼ全域で限
界値の約一〇〇倍になる。これらのことから
必然的に人々は遠隔地に避難を強いられ、東
京経済は一時停止に追いこまれる。これによ
る「間接的」損失は計り知れないが、かりに
汚染除去が可能であると仮定したとしても、
その費用は米政府の研究に基づくと約十九兆
円、つまり日本の国家予算の三分の一になる。
これらの結果もたらされる死亡者の数につ
いては、核兵器事故の場合、事故地点から一
一〇KMまでに及び二四、九七一人。放射性
落下物による中期的および長期的被曝（地上
照射）により、最初の一週間でさらに死亡者
数は二五、五六五人増加し、その後の一年で
さらに二六、九九四人が加わり、従って一年

平凡なトマホークの火災事故、あるいは 艦船の原子炉事故が起こったら 聴く人をうならせるディビス博士の新

6. 18トマホーク神奈川県民審査会から

加納 明

「核兵器事故をアセスメントする会」（代表＝大石武一元環境庁長官）の招きで、米力リフォルニア大学教授ジャクソン・ディビス博士の待望の来日が実現した。同氏の名は、核廃棄物の海洋投棄反対の論陣を張った学者として私たちにはおなじみである。最近はトマホーク搭載艦、戦艦ミズーリのサンフランシスコ母港化が計画された際、同艦で発生する事故の環境アセスメントを科学的に行い、母港化阻止の大きな契機を生み出し、私たちのファイフ、バンカーヒル母港化阻止運動に大きなヒントを与えた。

「アセスメントする会」では、横須賀、呉、佐世保の港で軍艦推進用原子炉と核兵器の事故のアセスメントを依頼した。算出の前提となる三つの港周辺の地形図、人口分布、気象データなどの基礎的データは、いずれも約二ヵ月程前に「アセスメントする会」の責任で博士のもとへ送ったものである。今回の来日は、それらのデータに基づく研究発表を日本各地で行う目的で計画された。

トマホーク神奈川県民審査会の講演で、デイビス博士は四つのテーマに分けて報告した。

一、核積載能力艦、原子力推進艦寄港の政策的枠組み、二、事故の帰結、三、事故の確率、四、政策勧告、である。

一について。米海軍の核戦力は世界中にあらゆる核戦力の中でも最も危険なものである。なぜなら、自国の港を離れて核艦船を同盟国の港に配置する前進展開戦略＝母港化政策をとっている。これは米海軍だけである。日本の港は全て核攻撃の目標になり、核事故の危険を伴う。横浜、横須賀といった大都市に原発が建設されると考えられないし核兵器貯蔵もしかりである。にもかかわらず、米軍の政策として情報開示がないため核艦船の寄港の危険性について公開議論が成立せず、とりわけ日本においては一層そうである。

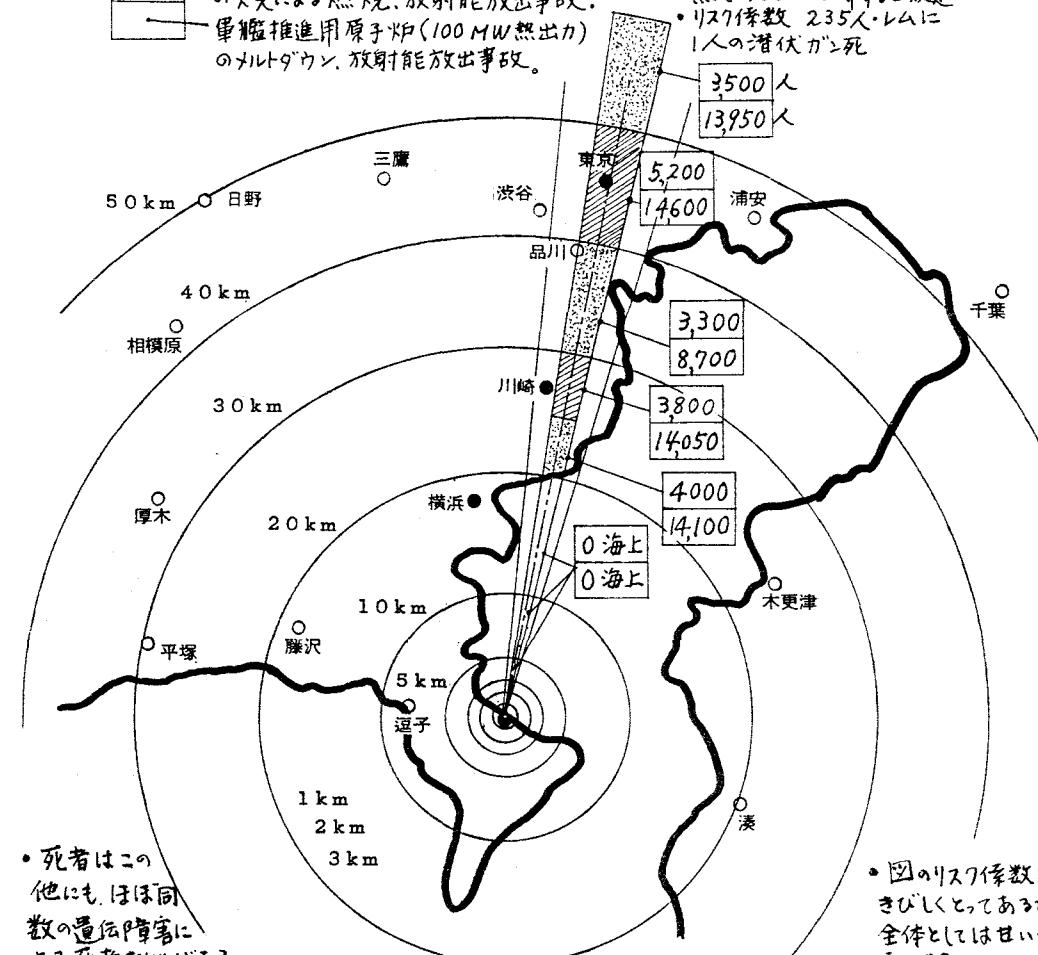
徳望の來由

研究発表の詳細は「アセスメントする会」
発行の日英両文による報告書（約三五〇ペー
ジ、三〇〇〇円にて販売中）にまとめられて
いるのでそちらにゆずる。

晩発性ガンによる死者

トマホーク弾頭1発(フロルトニウム239.5kg)の火災による燃焼、放射能放出事故。軍艦推進用原子炉(100MW熱出力)のメルトダウン、放射能放出事故。

- ・南西風、風速1m/秒
- ・大気安定度F(最も安定)
- ・熱によって放射能 事故地点で100m上昇すると仮定
- ・リスト件数 235人・レムに1人の潜伏ガン死



死者はこの他にも、ほぼ同じ数の遺伝障害による死者などがある。

図のリスト件数はきびしくてあるが、全体としてはせいぜい仮定が多い。

四について。日本国民と政府は、核艦船の寄港に伴うコストと利益を公開の場で真剣に討議し、寄港を認めるか否かの政策の見直しを行うべきである。もし、寄港を受け入れるとしても、次のことを怠ることは許されない。本研究はそのことを示している。一、核事故の環境への影響を詳細に分析すべきである。とりわけ陸と水への影響、海の生態系に対して行うべきである。二、日本政府と関係自治体は、治体は、核事故がもたらす医学的被害について、充分な人力と資力を投入した分析を行るべきである。三、日本政府と関係自治体は、核事故に備えて避難計画を策定すべきである。四、避難計画については予行演習を実施すべきである。五、日本政府、関係自治体は、米軍当局者と現実的な放射能除去計画、責任所在、経費、期間等について協議すべきである。六、核事故のもたらす経済的影響、さらには国際経済への影響を分析すべきである。七、日本政府は米軍に核事故に関するあらゆるデータの提出を要求すべきである。

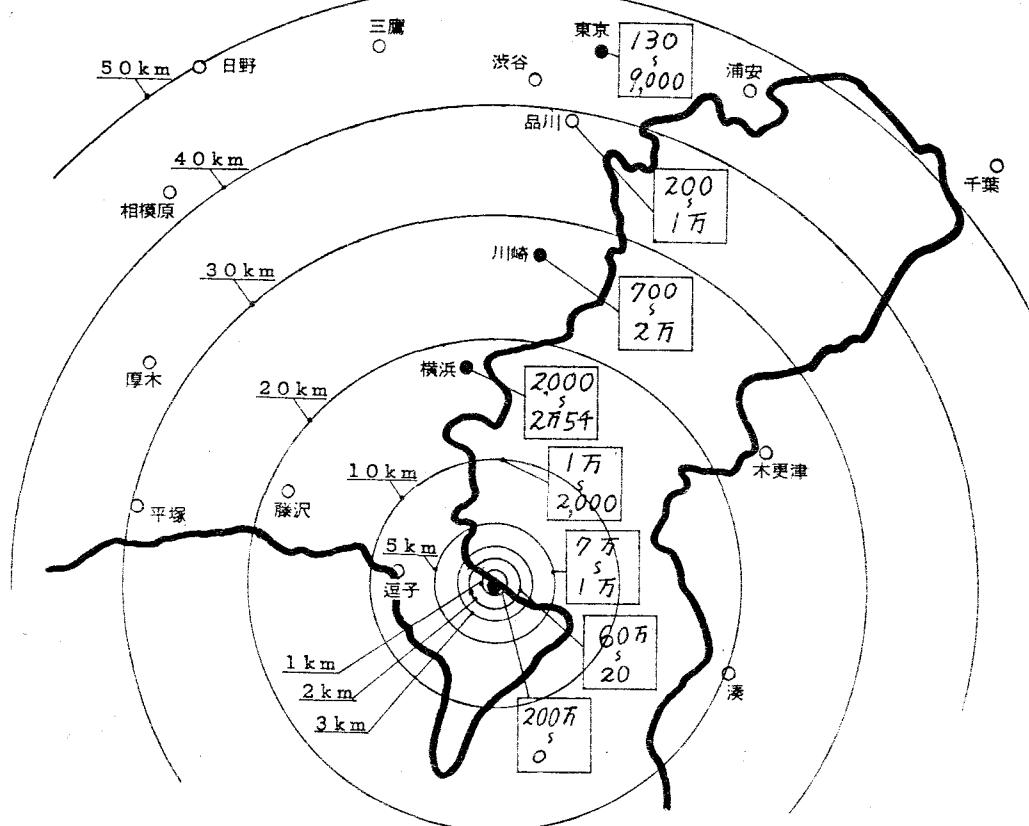
以上の講演を行った上、博士はミズーリ母港化阻止の経験に基づき、公開による問題討議の必要性を重ねて強調し、日本の運動に希望のメッセージを残して会場をあとにした。

大気のフロルトニウム汚染 (単位: 1立方メートル当り) のピュ・キエリー

トマホーク核弾頭1発(Pu^{239} 5kg)の火災による燃焼を仮定

- 上の数字: 热により事故地点で放射能雲の上昇がない場合
下の数字: 热により事故地点で放射能雲が100m上昇した場合

アメリカ原子力規制委員会(NRC)の限界値(3時間呼吸): 175



よる死亡者だけでも七七、五三〇人となる。さらに重度の遺伝的障害者を数えれば、これらの数値にすべて倍する数に達する死者が出ることが明らかであろう。

事故の確率

三について。核兵器事故の確率は米軍が核兵器自体の存在を明らかにせず、事故発生を否認することが政策的に許されているため、わからない。しかし、米軍では明らかになつただけでも過去三回の事故を起こしており、そのうち三回は太平洋で、三回は場所が不定である。推進用原子炉事故の確率は、発電用にも用いられている加圧水型の技術であるため確率を推定しやすい。一原子炉につき一年間に約一千分の一。米軍では一六一基の推進用原子炉が稼働中があるので、全体では千分の一六一である。

真剣な議論と対策を

